

## 入庁5年目職員インタビュー

### ■採用当手を振り返って

最初に配属された公共設備課では、初めは公園のトイレの新築など、規模の小さな工事を担当しました。分からないことだらけでしたが、その度に、先輩や上司に丁寧に教えてもらいながら、仕事を進めていくことができました。その後は、小学校の耐震工事に伴う電気設備の改修などに携わりました。分からないことができては勉強する、の繰り返しで、少しずつ経験を積み重ねてきたと思います。

最初の職場で、電気設備に関する知識を基礎からしっかり教えていただいたので、その知識や経験が今の自分の土台になっています。

### ■2つ目の職場への異動を経験して

現在は、道路管理課に所属しています。担当は、市内の道路照明や駅周辺のエレベーターなどの電気設備を管理する仕事です。水銀灯など消費電力の大きい道路照明を、省エネ効果のあるLED照明へ取り替えて、電気代などのコスト削減を図ったり、エレベーターなどの電気設備をいかに安全に運用できるかを考えたりしています。

最初の職場で、設計を学び、今の職場で維持管理について学べているので、とても良い経験ができています。2つの職場を経験したからこそ、設計段階から管理のことまでしっかりと考え、中長期的な視点で設計することの大切さを実感できました。

### ■技術者として、やりがいを感じるとき

自分で計画や設計をしたものが、実際に目に見える形となって完成したときは大きな達成感を感じます。それを、何年、何十年と、市民のみなさんに利用していただくために、より使いやすく便利なものであるよう、常に考えながら、仕事をしていきたいです。



入庁5年目・電気技術職

### 木下 翔悟 (道路管理課)

#### <経歴>

平成23年4月 公共設備課

平成27年4月 道路管理課

#### 倉敷市職員を目指す人へメッセージ

技術職の仕事は、技術や知識を得られるのはもちろんのこと、市民の方や事業者の方など多くの人と接することができます。また、その声を最前線で聞くことができる非常にやりがいのある仕事です。

職場の雰囲気は、とても活気があり、みんなが前向きに業務に取り組んでいます。倉敷市をより良くするために、みなさんも私たちと一緒に働きませんか？

## 入庁10年目職員インタビュー



入庁10年目・事務職

### 高槻 雅代 (下水計画課)

#### <経歴>

平成18年4月 国民健康保険課

平成23年4月 保健所健康づくり課

(平成25年2月～平成26年4月 育児休業)

平成27年4月 下水計画課

#### 倉敷市職員を目指す人へメッセージ

倉敷市役所の仕事は、市民の方々の生活をトータルで支える守備範囲の広いサービス業です。思ってもみなかった部署に配属されることもあります。新たな出会いがあったり、新しいことを学ぶことでモチベーションが上がったり、とても刺激的です。いろいろ環境がかわっても市民のみなさんのために頑張れる！という方をお待ちしています！

### ■これまでの仕事を振り返って

最初に配属された国民健康保険課は、窓口で制度や手続きを説明したり申請を受け付けたりしていました。市民の方と接する機会がとても多く、それぞれの方の立場に立って対応することの大切さを学びました。

保健所の健康づくり課では、自分で企画する仕事も経験しました。より多くの方に健診を受けていただくための効果的なPR方法を探り、「今までよりもっと良くするにはどうしたらよいか」を考えて実行することにやりがいを感じました。

現在の下水計画課では、庶務や経理以外に、下水道の広報活動も担当しています。特に、小学校での出前講座は、面白く、分かりやすく学んでもらうよう工夫しています。

難しく理解しにくいと思われがちな制度を、分かりやすくお伝えする、という基本はこの部署の仕事でも共通していると思います。

### ■仕事と子育てを両立するうえで

3歳の子どもがいるため、部分休業の制度を利用しています。30分早く帰宅し、家事をしたり子どもと触れ合う時間をつくっています。限られた時間のなかで仕事をするために、優先順位をしっかりとつけて、効率を上げるように心がけています。また、子どもが急に体調を崩して、早退することもあるので、スケジュールよりも早め早めに仕事を終わらせていくようにしています。それでも、上司や同僚に仕事のフォローをお願いすることがありますが、いつも理解していただき、恵まれた職場環境だと感じています。

### ■倉敷市役所で働く魅力

市民のみなさんとの距離が近いところが一番の魅力だと思います。時には、期待に応えられず、厳しいお言葉をいただくこともありますし、感謝される仕事ばかりではありません。しかし、どんな仕事も市民のみなさんが安心して暮らすために欠かせないものです。様々なかたちで、お役に立てることに、やりがいを見出すことができます。